

RIFA トップページ

Koryu トップページ

English

伝統の武道、カポエイラと少林寺拳法に バルーン・アートで交遊

第27回異文化交流サロン
平成19年1月21日(日)

カポエイラ



日系ブラジル人片山ケンジさん率いるカポエイラのグループが総勢20人でRIFA異文化交流サロンに来てくれました。ケンジさんは、来日してからブラジルのカポエイラを独白で身につけながら、正式に指導をすることが認められたというその技のすばらしさと指導力に、このイベントの参加者100人以上が感動しました。

カポエイラは16世紀ごろに始められたブラジルの伝統格闘技。ピリンバウという長い弓やアタバキというアフリカから渡った太鼓などの民族楽器が奏でられ、歌と手拍子に合わせて踊っているかのような、けれども力強い武術です。右に左に柔軟な動きがあると思えば、激しく跳んだり、頭を軸にして逆立ちのような型になったり、観衆は奏でられる音楽と手拍子の快いテンポに乗り、まばたきもできないほど真剣に見入りました。

少林寺拳法



カポエイラの後は、日本の少林寺拳法。栗東道院と守山道院で練習する小学生の男の子や女の子たちが指導者の方々と来てくれました。

少林寺拳法は1947年、敗戦後に真の平和の達成を目指して、宗道臣が香川県で創始しました。単なる武術ではなく、肉体と精神の両面の修行によって、慈悲や正義感を養

うことを目的としています。

基本練習や蹴り、防衛の型、また揚杖（しゃくじょう）という大人の身長より長い棒をぐるぐる回しながらの演武を披露してくださいましたが、武術の中に礼節を重んじた精神が会場にもしっかり受け止められました。ちなみに、揚杖（しゃくじょう）の演武が出来る人は日本中でも数えるほどしかないそうです。演武の後には、カポエイラの方々や参加者のアメリカ人男性が体験を希望され、和やかな雰囲気、まさに異文化の交歓交流となりました。

バルーンアートとブラジルのお菓子



ふたつの武術の演武が終わったところで、バルーン・アートと、ブラジルのお菓子が交流会が始まりました。

カラフルな紐長い風船から、クマのプーさんやかわいいカニさん、キリンさんなどがみるみるうちにでき上がり、参加者の1歳から小学生やそのおかあさん方まで、なが〜い順番待ちの列ができました。ブラジルの人、アメリカの人、タイの人、みんな並びました。少林寺拳法の演武を真剣なまなざしで見せてくれた小学生の男の子たちが順番待ちをしている姿や、もらった風船の刺で遊んでいる姿とてもほほえましいものでした。ブラジルのお菓子を囲んでの交流会もバルーン・



アートとともに、にぎやかなうちに終了しました。

たくさんのご参加、ありがとうございました。

クック夫妻の愉快的トークに大爆笑

ミシガン州デトロイトに生まれ育ち、大学時代には彦根にあるミシガンセンターで1年を過ごしたエリシアさん。それ以来、滋賀県が大好きで、卒業後には国際情報高校のALTとなって栗東市に1年滞在、その後は東京で4年間を過ごし、コロラド州に移り住みました。コロラドについて2日目に出会ったというパイロンさんと1年半後に結婚。エリシアさんを通じて日本を知り、是非日本に住みたいと考えておられたパイロンさん。2人の可愛い女の子とともに、一家で再び滋賀県を目指して昨年夏、彦根に在住することが決定しました。



チョコレート(表)



チョコレート(裏)



そんなお二人が、とても愉快的トークを展開してくれました。根っからのひょうきんな性格のエリシアさんが体験した銭湯でのお話に、会場は大爆笑しました。お土産に持ってきてくれたチョコレートのパッケージには、(上の写真でわかるでしょうか。)なんと、この日のプレゼンテーションのために、「栗東国際交流協会」の英語名や、お二人の名前が印刷されていました。一同、感激。最後に、抽選でコロラド州のT-シャツが当たるなど、バラエティに富んだ

内容で時間は瞬く間に過ぎました。

コロラドに住む日本人の数はネイティブ・アメリカンより多いそうで、11500人。その内、日本国籍の住民は4470人。日米コロラド協会、日本語補習校、ロッキー時報という日本語の新聞、日本館という合気道場、サクラスクエアなどがあり、生花・盆踊り・書道・茶道・すし・たこ焼きなど、いろいろな日本文化を学習したり、体験したりできるとか。サクラスクエアでは今年、桜祭35周年を祝う式典があるそうです。1日の気温変化は激しく、早朝は氷点下でも昼前には10度ぐらい、午後には20度にもなるというコロラドですが、日本にたくさんの姉妹都市を持つというコロラド州が、近しく感じられたプレゼンテーションでした。

後日、二人の女の子に七五三の着物を着せたいというエリシアさんの切望が、参加していたRIFA会員の宮城さんのお申し出により叶いました。

豪華な着物が、ぴったりでご機嫌のアリヤちゃん
と寄り添うエリシアさん

ブラジルでの日本語指導を終えて

園松市長に帰国の報告をする
武村さん

2年前、JICA(国際協力事業団)の日系社会青年ボランティアのプログラムで、ブラジル、サンパウロの南西180キロの地にあるサンミゲルアルカンジョという町に日本語講師として派遣されたRIFA会員でRIFA日本語指導ボランティアの武村慈子さんが、この1月に使命を終えて帰国、栗東市長に帰国の報告をしました。

RIFA日本語教室で指導ボランティアをしているうちに、本格的に指導の勉強をすることを決め、上記プログラムに応募して合格しました。日系人が比較的多く暮らすその町で、週日は日本語学校で、土・日曜日にはその他の地域でも開かれる日本語や日本文

化のイベントに参加しました。

その華奢な体でも、2年間のブラジル生活で一度も病気をせず、まだまだブラジルに居たかったという武村さん。人々が日系人であることの誇りを持っていることや、武村さんが日本人だからといって差別されることなく、むしろ日本人だからといって親しみを持って接してくれたのは、とてもありがたく、それは移民の一世の方々が後世に引き継いでこられた精神であることに感謝の念を抱き、今後は日本に来ているブラジルや他の国の子どもたちの日本語指導や、働きに来ている人の相談などの仕事に就きたいと話しました。



そろばんも教えました。

今年1月から、日本とトルコが共同で、1890年に和歌山県串本の海で沈没したトルコの木造軍艦エルトゥール号の遺品を捜しています。折しも、いつも旅行に行っては素晴らしい写真を撮ってこられるRIFA会員の森田勇さんがたくさんのトルコの写真と記事を送ってくれました。



トルコ旅行記



森田

勇

トルコの人口は日本の半分ですが国土は2倍、ヨーロッパとアジアの接点でもエキゾチックです。トルコ人は非常にも親切で特に日本人には親近感が強いです。理由は、明治時代にトルコの軍艦が串本の沖で遭難したのを村人が救助した話がトルコの教科書に乗っているのと、トルコ共和国の建国の父、アタチュルクさんが日本の明治の改革を参考に国づくりをしたからです。物価は安く、治安も良く、気候は日本とよく似ています。トルコの女性はととても献身的でトルコの男は掃除、洗濯、食事の何もしないそうです。以下写真の説明です。



エフェソスの図書館

トプカプ宮殿は、日本で言えば伊勢神宮のような所で、外国からの観光客はもちろん、トルコの地方からの観光客、修学旅行の学生でごった返しています。何といても世界一大きいダイヤとルビーは必見です。

エフェソスの図書館は保存状態が良く、広大な遺跡の真ん中にある古代の図書館。すぐそばの2万3千人収容の円形劇場（コロセウム）も圧巻！



トプカプ宮殿

カッパドキアはきのこが林立しているような地形で、トルコ最大の観光地です。今も人が住んでおり、スケールの大きさに圧倒されます。



エーゲ海クルーズ

アンタリアの港から1時間のエーゲ海クルーズが楽しめます。料金も値切れば、半値以下(1000円)になります。

サフランボルは、町全体が世界遺産。宿も150年前のアンティークで情緒があり、町の中心にあるハマス(トルコ風サウナ風呂)は最高！



カッパドキア

イスタンブールの旧市街と新市街を結ぶガラタ橋では、1000人以上の人々が釣りに夢中になっている。いわしのような魚が入れ食い状態。



サフランボル



ガラタ橋

***** ご投稿お待ちしております *****

エッセイ、紀行文、詩、短歌や俳句など、原稿を募集しています。採用分には薄謝を差し上げます。郵便番号・住所・氏名・TEL/FAX番号を添えて事務局までお送りください。E-メールでの投稿歓迎。

日本語の教え方を学ぶ

RIFA日本語講師養成講座

ウイングプラザ研修室で



から学習しました。

日本語講師吉岡俊之先生をお招きして2月3日、17日、3月17日の3日間、日本語教材『みんなの日本語』を使っての指導の仕方を学習しました。『みんなの日本語』第0課と題して、日本語を初めて教える人、初めて学ぶ人のための導入編を講義と模擬授業で体験をしました。また、日本語学習者にとって難しい形容詞、動詞の語形変化は、日本語指導者にとっても難しいところですが、今まで無意識に使っていた日本語を、教える・習う立場で考えな



RIFA日本語教室で学ぶ
外国籍の人たち

在住外国人が学習するRIFA日本語教室は、第2・第4土曜日の10：30～12：00に中央公民館各種団体室で開催しています。受講生の受講は随時で、レベルもさまざまなので、マンツーマン指導をしています。RIFA日本語指導ボランティアの活躍が期待されます。是非一度のぞいてみてください。

お知らせ

平成19年度はRIFA委員登録更新の年です

栗東国際交流協会の事業は各委員会によって企画・運営されています。より充実した協会とするため、皆様には委員会活動に積極的にご参画いただき、協会事業の企画・運営にご協力をいただきますようお願いいたします。

RIFA委員は2年毎に更新することになっており、平成19年度はRIFA委員登録更新の年となっています。新年度にお送りする総会案内はがきの下部に記載の希望する委員会に○印をつけてご返送ください。

各委員会の担当事業は以下のとおりです。

総務広報委員会	会員拡大 協会会報誌の作成 協会のPR活動 協会ホームページの作成・管理
交流事業委員会	会員拡大 姉妹都市 米国ミシガン州バーミンハム市との交流活動の企画・運営 友好都市 中国湖南省衡陽市との交流活動の企画・運営 「RIFA会員のつどい」の企画・運営
文化事業委員会	会員拡大 異文化交流サロン等による在住外国籍の人との交流事業の企画・運営 「RIFA会員のつどい」の企画・運営

お問合せ：RIFA事務局 551-0293

編集後記

近所のお子さんがピカピカの1年生にて我が家の前を通り学校へ通って行かれたのがついこの前のことと思っていましたが、ランドセルも今ではしっかり身に付けています。私も定年後の同じ所にて仕事していますが、セクションの異動もありましたそのたびたびが、1年生になったつもりでガンバッテおります。健康で仕事があることに感謝しつつ今後も1年生のつもりで過ごしたいです。

(Y.T)